

令和6年度 佐賀県立高等学校入学者選抜における特別選抜募集枠 の改編と帰国・外国人生徒等募集枠の設置について

教育振興課

〔A〕佐賀県立高等学校入学者選抜における特別選抜募集枠の改編について

1. 目的

高等学校入学者選抜の特別選抜において、それぞれの募集枠の性質を明確にするため、募集枠を改編する。

2. 改編内容

文化芸術推進指定校を、「文化芸術推進指定校」と「特色ある教育課程推進指定校」とする。

令和5年度	令和6年度
スポーツ推進指定校(競技実績に基づく募集枠)	スポーツ推進指定校(競技実績に基づく募集枠)
スポーツ推進指定校(学校希望に基づく募集枠)	スポーツ推進指定校(学校希望に基づく募集枠)
文化芸術推進指定校(教育課程に基づく募集枠)	文化芸術推進指定校
文化芸術推進指定校(学校希望に基づく募集枠)	特色ある教育課程推進指定校

※令和6年度高等学校入学者選抜より実施

3. 改編理由

工業系学科や農業系学科等の特色ある教育課程を持つ学科の人員を募集する枠組みが必要であるため。

〔B〕 帰国・外国人生徒等募集枠の設置について

1. 目的

- ・ 帰国・外国人生徒等入学志願者に対しては、現行の入学者選抜制度においても特例措置を設けて対応してきた。
- ・ 現行の制度では一定の日本語能力が求められることから、日本語能力の程度によっては県立高校への入学が困難な場合がある。
- ・ 入学者選抜制度の見直しを行うことで、県立高校への入学の機会を拡大し、学びの環境を充実させていく。

2. 現行制度における課題

- ・ 特例措置により3教科（国語・英語・数学）での受検が可能であるが、国語の負担が大きい。国語の学力検査で日本語能力を測るのは、帰国・外国人生徒等にとってハードルが高い。
- ・ 集団面接を受けることは、帰国・外国人生徒等に強い緊張感と不安感を強いる。
- ・ 一定数の帰国・外国人生徒等が県立高校を受検することなく県内外の私学へ進学している。

3. 目指すべき姿

- ・ 日本語指導を必要とする帰国・外国人生徒等に対して、入学者選抜の負担を軽減し、県立高校での学習機会を拡大することを目指す。
- ・ 入学後の日本語指導の体制を整え、教科指導と並行しながら、高校卒業時に他の生徒と同等の進路選択を可能にすることを目指す。

4. 具体的方針

（1） 検査内容及び配慮事項

新たに「帰国・外国人生徒等募集枠」を設置し、一般選抜において実施する。

- ・ 学力検査（英語・数学）、作文（日本語）、面接（個人）
（英語・数学は一般選抜と共通問題）
- ・ 学力検査問題（英語・数学）の漢字にふりがな
- ・ 検査時間延長：英語・数学（各 50 分）をそれぞれ 15 分延長

(2) 帰国・外国人生徒等募集枠拠点校

三養基高校を拠点校とした上で入学者選抜を実施する。

- ・過去に「国際文化コース」を設置していた経緯あり
- ・現在も選択授業として「中国語」を実施する等、異文化理解に関する教育の下地がある
- ・比較的交通の便が良く広範囲から通学可

(3) 募集人員

若干名（定員内）

(4) 受検資格

入国3年以内の帰国・外国人生徒等
（現行の特例措置は継続して実施）